

輸出事業計画（品目：かき・かき加工品）**※申請者名：全国農業協同組合連合会山梨県本部****（ＪＡフルーツ山梨、ＪＡふえふき、ＪＡ南アルプス市）****1. 輸出における現状と課題****【現状】**

山梨県では平成19年に、全国農業協同組合連合会山梨県本部（ＪＡ全農やまなし）、ＪＡグループ山梨等の関係機関で構成される「山梨県果実輸出促進協議会」（以下、輸出協議会）を設立し、海外トップセールス、現地店舗における販売促進やプロモーション、海外における商談会への出展など山梨県産果実の知名度向上と販売拡大に取り組んでいる。

輸出は台湾・香港を中心に取り組んでいるが、シンガポールを中心に、タイ、マレーシアなど東南アジアでの輸出拡大に向け取り組んでいる。

○シンガポール（かき・あんぽ柿）：

シンガポールの人口は70%以上を中華系の民族が占めており、春節（旧正月）における贈答需要が高く、あんぽ柿等の引き合いが強い。

また、シンガポールにおける検疫条件は比較的厳しくないため、生産者や産地にかかる負担が少なく、輸出に取り組みやすい国である。

○台湾、香港、マレーシア（あんぽ柿・枯露柿）：

春節（旧正月）における需要が高く、枯露柿を中心に引き合いが強い。贈答向けには大玉のあんぽ柿、枯露柿のニーズが高く、山梨県産のあんぽ柿、枯露柿は大玉品種（甲州百目、大和百目）を原料にしており、他産地のあんぽ柿、枯露柿に比べ大玉であることが、春節（旧正月）の贈答需要に適している。

他方、化粧箱では単価が高く、一般消費者の手に届きにくいという意見もあり、個数を減らしたパック販売、1個売りなど売り場に合わせた様々な形態での販売も求められている。このため、産地では需要に応じて個包装のフィルムに包んだ販売形態による出荷等の対応を行っている。

【課題】**○生産・加工**

- ・生産体制の強化（かき、あんぽ柿、枯露柿の生産力向上・安定供給）
- ・あんぽ柿、枯露柿の加工における衛生管理の確立

○物流

- ・産地から現地店舗までの輸送日数の短縮

○販売

- ・県産果実の認知度向上
- ・鮮度保持および、あんぽ柿の賞味期限延長
- ・消費者への商品理解の促進

2. 輸出事業計画の取組内容

○ 生産・加工

- ・ 県やJAと連携した栽培指導の徹底
- ・ 低樹高化など優良事例の導入検討
- ・ 病害虫の適期防除指導
- ・ 機械乾燥機の導入検討
- ・ 乾燥初期段階の品質管理指導の徹底
- ・ HACCPに基づく衛生管理指導の実施

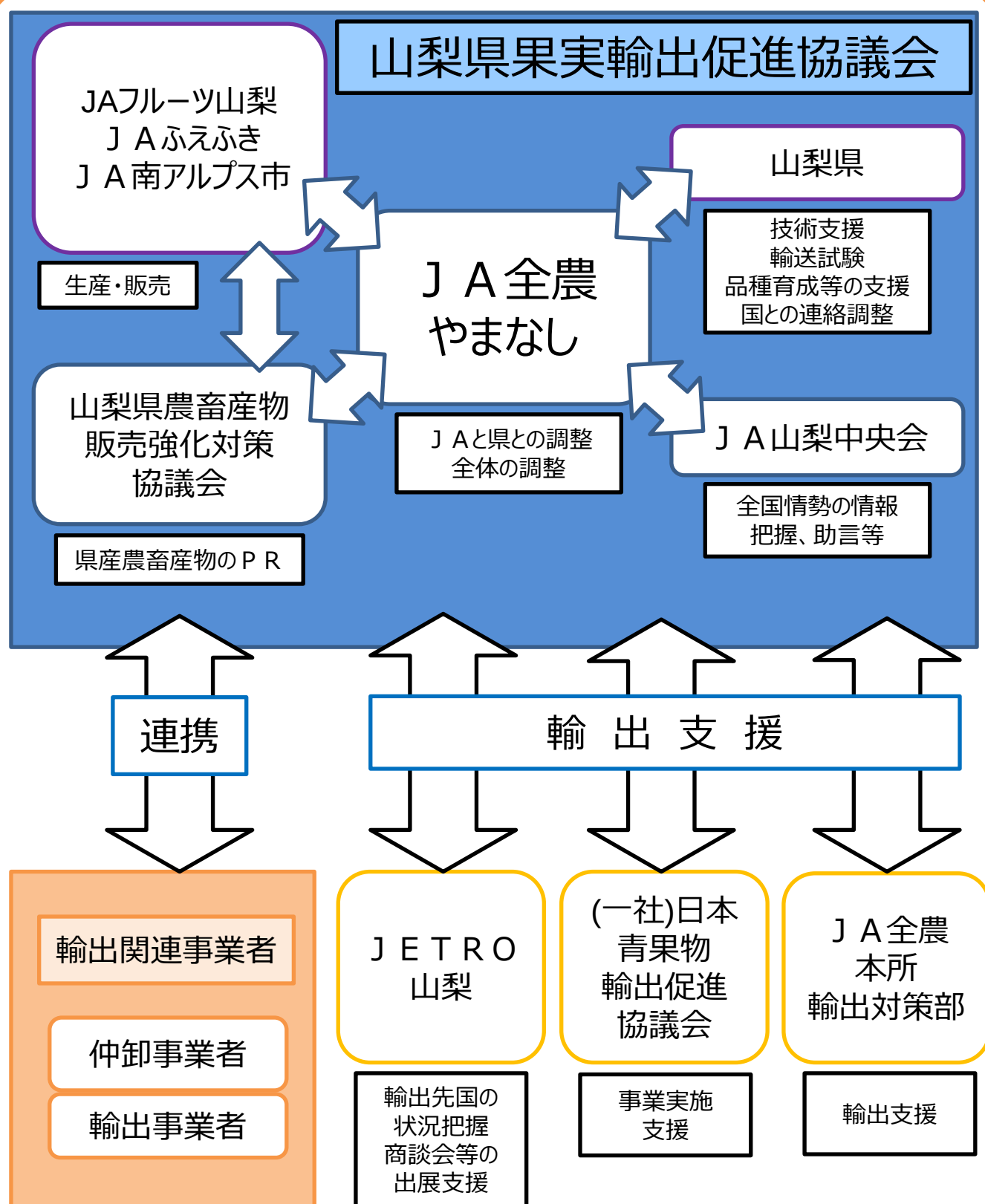
○ 物流

- ・ 全農インターナショナルや他の輸出事業者との連携強化
- ・ 産地から空港に直送して輸出を行う物流構築等の検討

○ 販売

- ・ あんぽ柿の賞味期限延長や鮮度保持に向けて、他産地の優良事例や資機材メーカー等から情報収集を実施
- ・ 売り場に合わせてパック販売や1個売りなど、需要に応じた様々な販売形態の検討
- ・ 現地店舗におけるフェアの開催、海外バイヤー招聘

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

輸出品目：かき

		現状（令和3年度）	目標（令和7年度）
山梨県全域	輸出額	98,406円	104,000円
	輸出量	126kg	130kg
	輸出先国	シンガポール	シンガポール

輸出品目：あんぽ柿

		現状（令和3年度）	目標（令和7年度）
山梨県全域	輸出額	572,698円	623,400円
	輸出量	799kg	850kg
	輸出先国	香港（345kg） 台湾（114kg） シンガポール（226kg） マレーシア（114kg）	香港（365kg） 台湾（140kg） シンガポール（230kg） マレーシア（115kg）

輸出品目：枯露柿

		現状（令和3年度）	目標（令和7年度）
山梨県全域	輸出額	1,785,095円	2,727,250円
	輸出量	615kg	850kg
	輸出先国	香港（363kg） 台湾（247kg） マレーシア（5kg）	香港（385kg） 台湾（400kg） シンガポール（60kg） マレーシア（5kg）